

# スプリッタの機能と使用方法について

株式会社 HAYAWAZA

本資料では、スプリッタの機能と使用方法についてご説明致します。  
説明の内容は、以下の通りです。

- 1) スプリッタとは？
- 2) スプリッタの画面と機能の説明
- 3) スプリットの使用方法例
  - ① 同じ日付でスプリットする
  - ② 一行ごとにスプリットする
  - ③ 空白行でスプリットする
- 4) パターンとスプリッタの設定が完了した後、コンバートする方法

## 1) スプリッタとは？

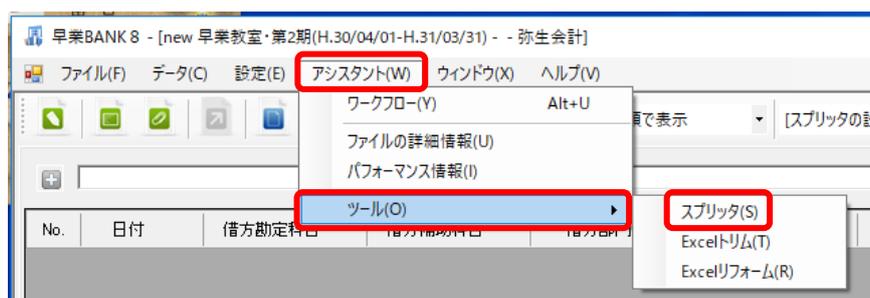
HAYAWAZAXでは、複合仕訳を作成する際、「Excel の1シート」を「1つの振替伝票」とする仕様になっています。

そのため、ひとつのシートに異なる日付が入っている場合は、日付ごとにシートを分ける必要があります。

そこでコンバートする前のデータファイルから、ヘッダ部分・行や列等、指定した条件をセットにして各シートに展開することで、HAYAWAZAXでの「複合仕訳のパターン設定」を容易にする機能です。

HAYAWAZAXを起動して事業所を開きます。

メニューから「ファイル」→「事業所を開く」を選択したら対象の事業所を選択して事業所を開きます。事業所に入り、「アシスタント」→「ツール」→「スプリッタ」を選択します。



## 2) スプリッタの画面と機能の説明



### 【スプリッタの機能一覧】

#### 1. 設定の登録

スプリッタの設定を保存できます。

#### 2. 設定の削除

登録したスプリッタの設定を削除できます。

#### 3. 設定のエクスポート

画面に表示されているスプリッタの設定をエクスポートできます。

※エクスポートしたスプリッタの設定をインポートするには、上記「スプリッタ」の画面にドロップします。

#### 4. ヘッダオプション

- Excel パターンを選択してヘッダ行を指定

登録されている Excel パターンと同様のヘッダ行を指定できます。

チェックを入れるとプルダウンがアクティブになります。

プルダウンをクリックすると開いている事業所に登録されているパターンが表示されます。

- 行数を指定してヘッダを処理  
チェックを入れると行数を指定できます。
- ヘッダを指定しない

#### 5. 範囲オプション

スプリットする範囲を行で指定できます。

- すべての行を対象とする
- 指定行の範囲を対象
- スプリットしない

#### 6. スプリットのオプション

- 1つのExcelファイルに作成するシート数は0シートまで
- 0列&0列をソートしてからスプリットする  
金額もしくは数値を昇順で並び替えてからスプリットする機能です
- グループ処理を有効  
列内の同じ値ごとにスプリットをかけることができます。
- 行列を入れ替えてからスプリットする
- 『元のシート名+採番』で新しいシート名を生成する  
新しいファイルのシート名を元のシート名と番号で生成します。
- 行単位でスプリットする
- 文字で単位でスプリット  
指定した列にある文字ごとにシートを分けることができます。
- 文字をシート名に出力
- 空白行でスプリットする

#### 7. スプリット後の合算オプション

スプリット後、金額を合算することができます。

#### 8. スプリット後の列スプリット

スプリットした後のファイルを列で分けることができます。

### 3) スプリットの使用方法例

#### ① 同じ日付でスプリットする

	A	B	C	D	E	F	G
1							
2				<b>振替伝票</b>			
3							
4	月日	金額	借方科目	摘要		貸方科目	金額
5	7月10日	577,696	普通預金	売掛入金	川北メディカル(株)	売掛金	728,560
6	7月10日	150,000	受取手形	売掛入金	川北メディカル(株)		
7	7月10日	864	支払手数料	振込手数料	川北メディカル(株)		
8	7月10日	628,500	買掛金	買掛支払	(株)厚木産業	普通預金	628,068
9	7月10日			振込手数料	(株)厚木産業	支払手数料	432
10	7月10日	23,500	預り金	住民税	大阪市	現金	44,300
11	7月10日	9,500	預り金	住民税	奈良市		
12	7月10日	11,300	預り金	住民税	京都市		
13	7月10日	15,820	通信費	携帯電話利用料		現金	15,820
14	7月10日	21,600	修繕費	車オイル交換代		現金	21,600
15	7月10日	1,080	消耗品費	文具代		現金	1,080
16	7月11日	577,696	普通預金	売掛入金	川西メディカル(株)	売掛金	728,560
17	7月11日	150,000	受取手形	売掛入金	川西メディカル(株)		
18	7月11日	864	支払手数料	振込手数料	川西メディカル(株)		
19	7月11日	628,500	買掛金	買掛支払	(株)厚川産業	普通預金	628,068
20	7月11日			振込手数料	(株)厚川産業	支払手数料	432
21							

#### 1. ヘッダオプション

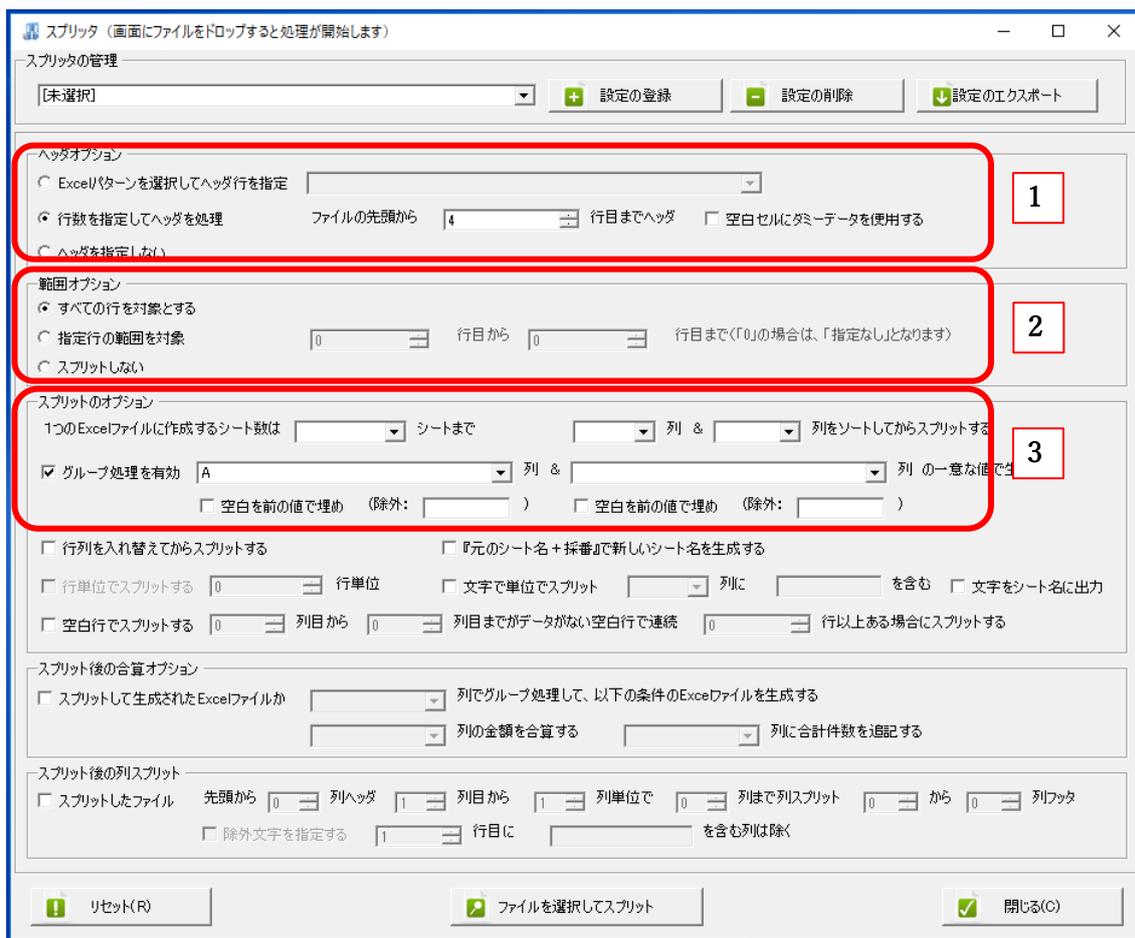
「行数を指定してヘッダを処理」にチェックを入れ、「ファイルの先頭から4行目までヘッダ」と設定します。

#### 2. 範囲オプション

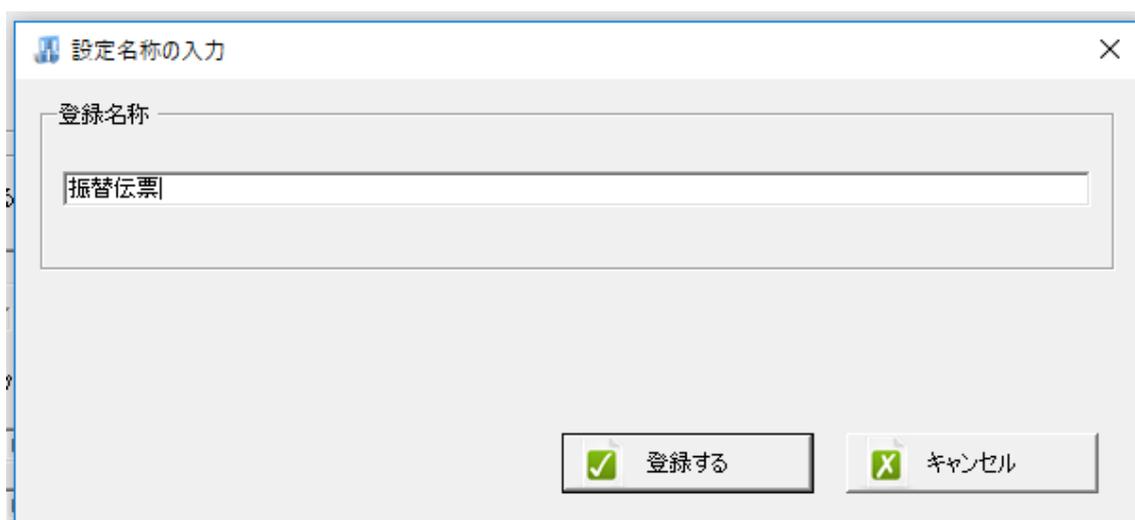
「すべての行を対象とする」にチェックを入れます。

#### 3. スプリットのオプション

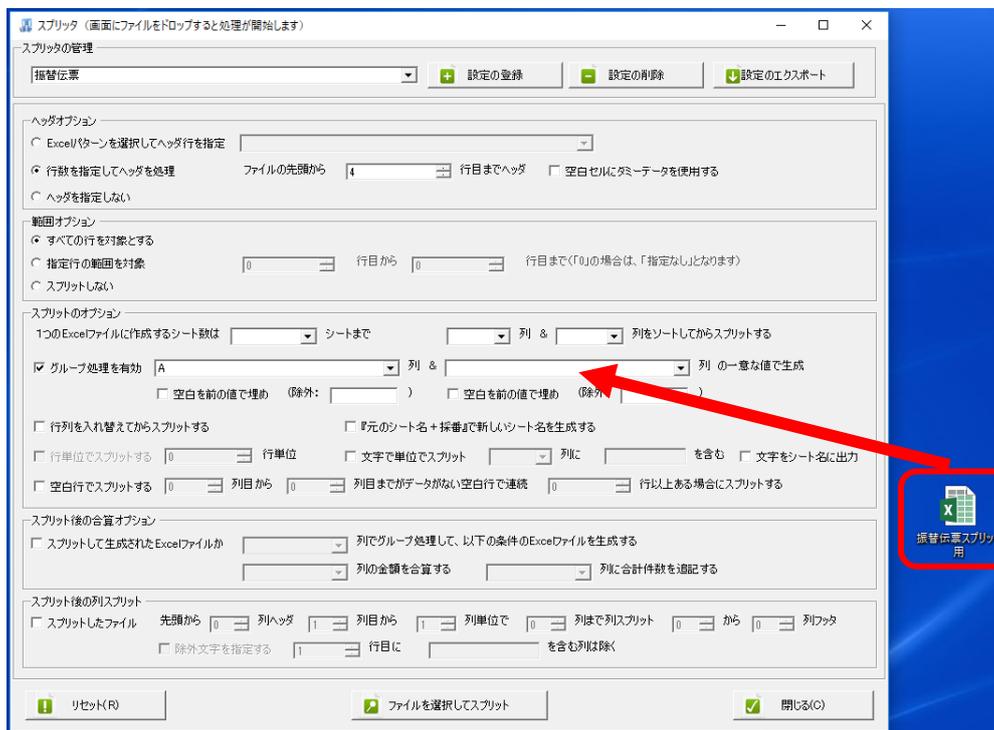
「グループ処理を有効」にチェックを入れ、「A列の一意的な値で生成」と設定します。



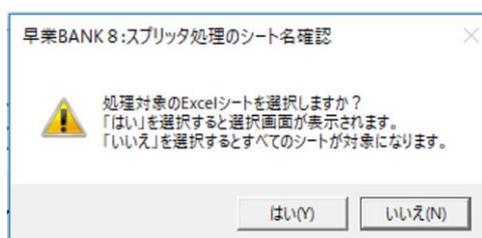
設定を保存する場合は、「設定の登録」をクリックし、登録名称を入力し、「登録する」をクリックします。



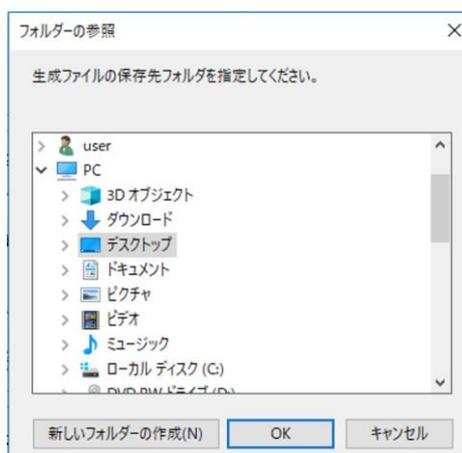
設定ができましたら、このスプリッタの画面上に Excel ファイルをドロップします。



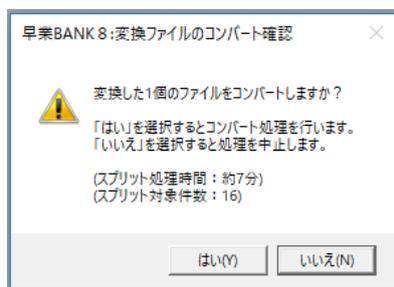
シートを選択する場合は「はい」、全てのシートを対象とする場合は「いいえ」をクリックします。



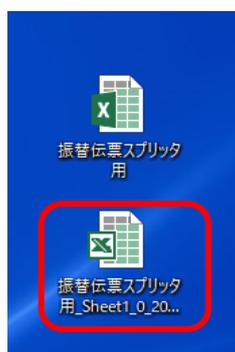
次に、保存先を指定します。



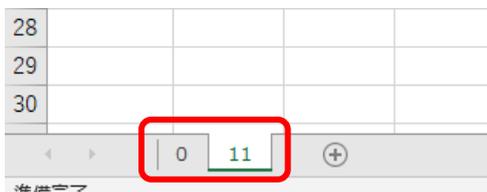
パターンがすでに設定されており、コンバートする場合は「はい」、コンバートしない場合は「いいえ」を選択します。



指定した保存先にファイルができています。



生成されたファイルを開くと、2シートできていることが確認できます。



1シート目(2018/7/10)

2シート目(2018/7/11)

1	A	B	C	D	E	F	G
2				振替伝票			
3							
4	月日	金額	借方科目	摘要	貸方科目	金額	
5	2018/7/10	577,696	普通預金	売掛入金	川北メディ売掛金	728,560	
6	2018/7/10	150,000	受取手形	売掛入金	川北メディカル(株)		
7	2018/7/10	864	支払手数料	振込手数料	川北メディカル(株)		
8	2018/7/10	628,500	買掛金	買掛支払	(株)厚川産業普通預金	628,068	
9	2018/7/10			振込手数料	(株)厚川産業支払手数料	432	
10	2018/7/10	23,500	預り金	住民税	大阪市	現金	44,300
11	2018/7/10	9,500	預り金	住民税	奈良市		
12	2018/7/10	11,300	預り金	住民税	京都市		
13	2018/7/10	15,820	通信費	携帯電話利用料	現金	15,820	
14	2018/7/10	21,600	修繕費	車オイル交換代	現金	21,600	
15	2018/7/10	1,080	消耗品費	文具代	現金	1,080	

1	A	B	C	D	E	F	G
2				振替伝票			
3							
4	月日	金額	借方科目	摘要	貸方科目	金額	
5	2018/7/11	577,696	普通預金	売掛入金	川西メディ売掛金	728,560	
6	2018/7/11	150,000	受取手形	売掛入金	川西メディカル(株)		
7	2018/7/11	864	支払手数料	振込手数料	川西メディカル(株)		
8	2018/7/11	628,500	買掛金	買掛支払	(株)厚川産業普通預金	628,068	
9	2018/7/11			振込手数料	(株)厚川産業支払手数料	432	

4行目までがヘッダ、A列の同じ日付でシートが分けられていることが確認できます。

②一行ごとにスプリットする

下記のようなデータをスプリッタで設定する場合、異なる日付が一行ごとに入っているの  
で、一行ずつの日付ごとにシートを分けます。

	A	B	C	D	E	F	G	H
1	売掛金一覧							
2	A	B	C	D	E	F	G	売上合計
3	6月1日	3000			5000		5000	13000
4	6月2日		2500					2500
5	6月3日		2500					2500
6	6月4日		2500	4000		4000	5000	15500
7	6月5日		4000					4000
8	6月6日		3000	4000	5000			12000
9	6月7日	4000						4000
10	6月8日				2500			2500
11	6月9日	5000						5000
12	6月10日			3000				3000
13	6月11日	4000				5000		9000
14	6月12日			5000	5000			10000
15	6月13日	3000		2500		2500		8000
16	6月14日			4000				4000
17	6月15日		3000					3000
18	6月16日		2500					2500
19	6月17日			2500				2500
20	6月18日	4000						4000

### 1. ヘッダオプション

「行数を指定してヘッダを処理」にチェックを入れ、「ファイルの先頭から2行目までヘッダ」と設定します。

### 2. 範囲オプション

「すべての行を対象とする」にチェックを入れます。

### 3. スプリットのオプション

「行単位でスプリットする」にチェックを入れ、「1行単位」と設定します。  
必要であれば、設定の登録をします。

Excel ファイルをドロップして、生成されたファイルを開くと、データが一行ごとのシートに分かれたファイルになっていることが確認できます。

	A	B	C	D	E	F	G	H	I
1	売掛金一覧								
2		A	B	C	D	E	F	売上合計	
3	2018/6/1	3000			5000		5000	13000	
4									

② 空白行でスプリットする

下記のように日付が、空白行で分かれているデータをスプリット設定します。

	A	B	C	D	E	F	G	H	I
1									
2					<b>振替伝票</b>				
3									
4	月	日	金額	借方科目	摘要		貸方科目	金額	
5	7	10	577,696	普通預金	売掛入金	川北メディカル(株)	売掛金	728,560	
6	7	10	150,000	受取手形	売掛入金	川北メディカル(株)			
7	7	10	864	支払手数料	振込手数料	川北メディカル(株)			
8									
9									
10									
11	月	日	金額	借方科目	摘要		貸方科目	金額	
12	7	15	628,500	買掛金	買掛支払	(株)厚木産業	普通預金	628,068	
13	7	15			振込手数料	(株)厚木産業	支払手数料	432	
14	7	15	23,500	預り金	住民税	大阪市	現金	44,300	
15	7	15	9,500	預り金	住民税	奈良市			
16	7	15	11,300	預り金	住民税	京都市			
17	7	15	15,820	通信費	携帯電話利用料		現金	15,820	
18	7	15	21,600	修繕費	車オイル交換代		現金	21,600	
19	7	15	1,080	消耗品費	文具代		現金	1,080	
20									

### 1. ヘッダオプション

「行数を指定してヘッダを処理」にチェックを入れ、「ファイルの先頭から3行目までヘッダ」と設定します。

### 2. 範囲オプション

「すべての行を対象とする」にチェックを入れます。

### 3. スプリットのオプション

「空白行でスプリットする」にチェックを入れ、「1列目から8列目までがデータがない空白行で連続1行以上ある場合にスプリットする」と設定します。

設定の登録をします。

1

2

3

Excel ファイルをドロップします。

生成されたファイルを開くと、空白行で日付別に分かれたシートのファイルができています。

	A	B	C	D	E	F	G	H
1								
2					振替伝票			
3								
4	月	日	金額	借方科目	摘要		貸方科目	金額
5	7	10	577,696	普通預金	売掛入金	川北メディ	売掛金	728,560
6	7	10	150,000	受取手形	売掛入金	川北メディカル(株)		
7	7	10	864	支払手数料	振込手数料	川北メディカル(株)		
8								
9								

0 7

	A	B	C	D	E	F	G	H
1								
2					振替伝票			
3								
4	月	日	金額	借方科目	摘要		貸方科目	金額
5	7	15	628,500	買掛金	買掛支払	(株)厚木産業	普通預金	628,068
6	7	15			振込手数料	(株)厚木産業	支払手数料	432
7	7	15	23,500	預り金	住民税	大阪市	現金	44,300
8	7	15	9,500	預り金	住民税	奈良市		
9	7	15	11,300	預り金	住民税	京都市		

0 7

### ③ 列でスプリットする

下記のようなデータは、列ごとに月別のシートに分けるスプリットの設定をします。

	A	B	C	D	E	F	G	H	I	J	K	L	M
1		1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
2	図書費	2000	2000	2000	8000	2000	2000	2000	2000	2000	2000	2000	2000
3	車両費	3000	3000	3000	3000	3000	3000	3000	3000	3000	3000	3000	3000
4	消耗品費	3000	3000	3000	3000	3000	3000	3000	3000	3000	3000	3000	3000
5	旅費交通費	3000	3000	3000	3000	3000	3000	3000	3000	3000	3000	3000	3000
6	交際費	3000	3000	3000	3000	3000	3000	3000	3000	3000	3000	3000	3000
7	通信費	3000	3000	3000	3000	3000	3000	3000	3000	3000	3000	3000	3000

#### 1. 範囲オプション

「スプリットしない」にチェックを入れます。

#### 2. スプリット後の列スプリット

「スプリットしたファイル」にチェックを入れ、「先頭から1列ヘッダ2列目から1列単位で13列まで列スプリット」と設定します。

スプリット (画面にファイルをドロップすると処理が開始します)

スプリットの管理

列

設定の登録

設定の削除

設定のエクスポート

ヘッダオプション

Excelパターンを選択してヘッダ行を指定

行数を指定してヘッダを処理

ヘッダを指定しない

範囲オプション

指定行の範囲を対象

スプリットしない

スプリットのオプション

スプリット後の合算オプション

スプリット後の列スプリット

スプリットしたファイル

保存先に、2つのスプリットされたファイルが生成されるので、末尾に「列スプリット」と書かれたファイルを開きます。



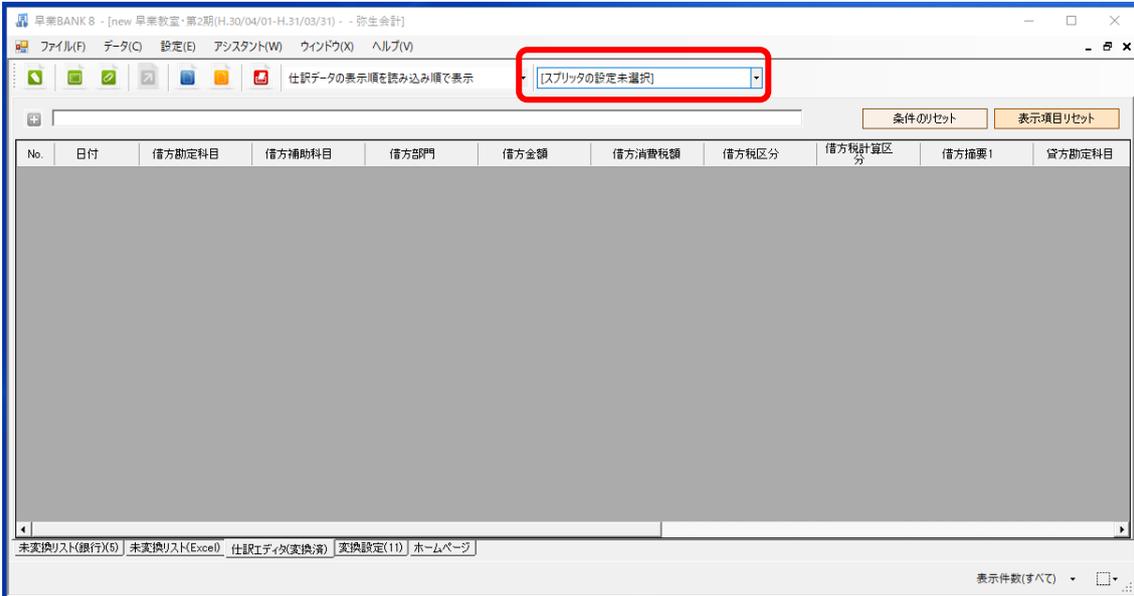
月別に分かれたシートのファイルができています。

	A	B	C	D	E	F	
1		1月					
2	図書費	2000					
3	車両費	3000					
4	消耗品費	3000					
5	旅費交通費	3000					
6	交際費	3000					
7	通信費	3000					
8							

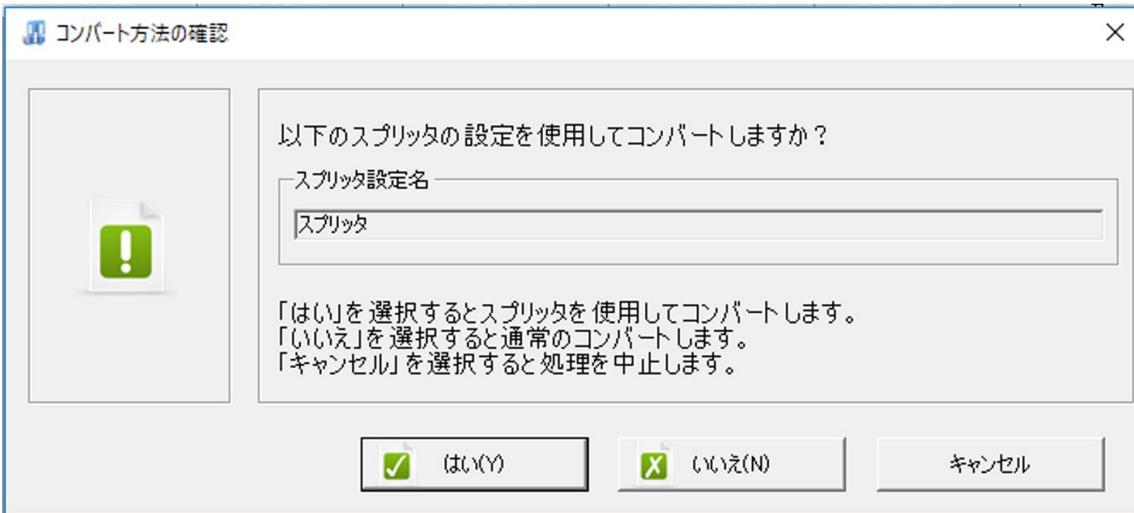
Sheet1\_1 | Sheet1\_2 | Sheet1\_3 | Sheet1\_4 ...

#### 4) パターンとスプリッタの設定が完了した後、コンバートする方法

画面上部の「スプリッタの設定未選択」のプルダウンから使用するスプリッタの名称を選択します。



コンバートするデータファイルをドロップすると以下の画面が表示されます。



「はい」を選択し、通常通りコンバートしてください。

以上